

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 17

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

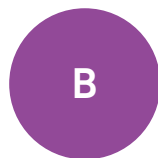
## フジシールグループ CDP2021評価結果と 温室効果ガス削減取り組み

フジシールグループでは、気候変動・海洋プラスチック問題（生物多様性）・資源枯渇を重要課題として位置付け、製品・サービスを通じて環境に貢献し、製造時における負荷低減に向けて取り組んでいます。これらの取り組み状況を客観的に捉え、次なる改善につなげるために、2021年度もCDPによる評価を受けました。CDP2021評価結果と温室効果ガス削減取り組みについてご紹介します。

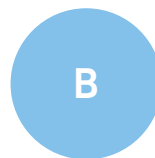
### CDP

株式会社フジシールインターナショナルは、CDP2021「気候変動」・「水」において、昨年に引き続き、マネジメントレベル「B」評価を獲得しました。また、気候変動に関連するサプライヤーエンゲージメントが評価されるCDP SUPPLIER ENGAGEMENTではリーダーシップレベル「A-」を獲得しました。

### CDP 2021評価結果



CLIMATE CHANGE  
2021



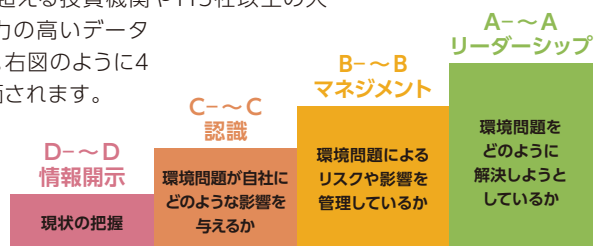
WATER SECURITY  
2021



CDP SUPPLIER  
ENGAGEMENT  
RATING REPORT 2021

### CDPとは…

CDPは2000年に英国で設立したNGOであり、投資家・企業・都市・国家・地域が環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営。その情報開示システムは、8,000社以上からの回答を受け、650社を超える投資機関や115社以上の大手購買企業が活用する影響力の高いデータの一つとして知られています。右図のように4レベル、8段階（A～D）で評価されます。



[CDPウェブサイト(英文)]

<https://www.cdp.net/>

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 17

2021年7月、フジシールグループはTCFD提言にも賛同を表明しました。今後も低炭素社会への移行に向けた経営戦略への反映を行うとともに、CDPでの開示のみならず、ホームページでも、情報開示を進め、企業価値向上に努めていきます。

■ 温室効果ガス (GHG) 排出量推移と削減取り組み

フジシールグループでは、GHG売上高原単位6%削減目標(達成年2023年度、基準年2017年度)を掲げ、GHG削減取り組みを推進しています。そのためグループ全体を挙げてGHG排出量のモニターを行っており、2020年度からは、新たに連結子会社化したFuji Seal Packaging Thailandの2工場も算定範囲に追加して排出量推移を確認しています。2020年度は算定範囲の追加の影響もあり、GHG排出量・GHG排出量売上高原単位ともに基準年よりも増加となってしまいました。この結果を受け、2021年度にはグループを挙げてGHG排出量削減取り組みの強化について議論を重ね、2022年度から再生可能エネルギーを導入するプロジェクトが立ち上がりました。

米州バースタウン工場では、月ごとの電力使用量の10%の再生可能エネルギー証書National Green-E® Renewable Energy Certificates (RECs)の調達を2022年2月からすでに開始しています。また、タイシンサコン工場では、PPA (Power Purchase Agreement: 電力販売契約)による太陽光発電設備導入の契約済みで、2022年中には導入を開始する予定です。その他、製造効率改善によるエネルギー削減や設備のエネルギー効率改善も進めており、目標達成に向け、引き続き取り組んでいきます。

